

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		販路開拓支援事業			
事業の概要		<p>町の主産業である織物業が、従来の不況要因に昨今の経済低迷が加わり厳しさを増す中、経営維持と活性化を図るためには、販路拡大や新規の販路開拓が必要となっており、グループによる販路開拓に取り組む企業に対し、積極的な事業展開ができるよう経費負担の軽減など支援を行うものである。</p> <p><内容> 織物業者9社による繊維総合見本市(東京)への出展、丹後の服地、和装生地等のPR及び得意先の新規開拓事業</p>			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	163	本年度事業費	163
事業評価	事業の必要性	町の主産業である織物業が、従来の不況要因に昨今の経済低迷が加わり厳しさを増す中、経営維持と活性化を図るため、販路拡大や新規の販路開拓に取り組む企業に対し、積極的な事業展開ができるよう支援を行うものである。			
	事業の有効性	販路開拓事業の必要性は今日まで言われながらも、既存の取引先に頼る状況であったが、グループ等により活動する中で、これらがきっかけとなり販路拡大のチャンスや可能性が広がる。			
	事業の効率性	丹後の服地、和装生地等をPRすることで、新規販路開拓が期待でき、織物業の活性化が図られるものである。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果 織物業が与謝野町にとどまらず丹後地域の産業として産地全体へ波及するとともに、今後の活動の継続が期待できる。			
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 丹後の服地、和装生地等をPRすることで、新規販路開拓が期待でき、織物業の活性化が図られるものである。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。